

平成 27 年度 自己評価及び外部評価
小規模多機能型居宅介護 サービス評価

小規模多機能型居宅介護 花むつみ

事業所自己評価 H28.2.15 (9名)

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	平成 28年 2月 15日 (17:30~20:00)			
1. 初期支援 (はじめのかかわり)		メンバー	長沼・金子・佐々木・泉・柴田・高橋・斉藤 佐藤(久)・佐藤(弘)			
◆前回の改善計画に対する取組み状況						
個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人
前回の改善計画						
前回の改善計画に対する取組み結果						
◆今回の自己評価の状況						
確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5人	4人			9人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	8人	1人			9人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6人	3人			9人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2人	7人			9人
できている点		200字程度で、できていることと、その理由を記入すること				
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前に情報を共有しているが、カンファレンスに全職員が集まる時間を取ることができず、参加できなかった職員へは、担当者会議やフェイスシートを活用し申し送り形式で行っている ・声かけや気遣いができている ・連絡帳を活用しその日の出来事、健康チェックなどを記載し確認できるようにしている 						
できていない点		200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること				
<ul style="list-style-type: none"> ・全職員出席による利用前ミーティングが、交替勤務の為、全職員が出席できる時間の調整がとれない ・訪問時は家族がいない時間が多く、家族と関わる機会が少ないため、関係作りに難儀している 						
次回までの具体的な改善計画				(200字以内)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングや家族との関係は、調整が難しく現状維持とし、引き続き職員間の情報共有や家族との関係作りを深める 						

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年 2月 15日 (17:30~20:00)

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー 長沼・金子・佐々木・泉・柴田・高橋・斉藤
佐藤(久)・佐藤(弘)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		9人			9人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		8人	1人		9人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		8人	1人		9人
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2人	7人			9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・その方の状態や状況に合わせた支援を行い、なじみの関係を築き日々の関わりができています ・ひとり一人の尊厳を保持し支援できている 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・意思確認が難しい方もいて、以前の暮らし方の把握不足や情報収集が不足している。 ・家族とのコミュニケーション不足や本人の意思と家族の要望にずれがあり、支援が難しいことがある 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・初回訪問や定期的な訪問で本人の情報を家族から得る。連絡帳などを活用し家族と連携を図る ・利用開始後の関わりの中で、その方のしたいことなどに気付いた時、随時関わった職員が『お客様面談記録』に付け足し、職員間で情報を共有する 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年 2月 15日 (17:30~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 長沼・金子・佐々木・泉・柴田・高橋・斉藤
佐藤(久)・佐藤(弘)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1人	8人		9人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	9人				9人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5人	4人		9人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8人	1人			9人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?	9人				9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・残存能力を活用し自立支援に向けたケアがされている。 ・本人の状態の変化にすぐ対応できるように、ミーティングや申し送りを行い情報共有している ・朝の会用紙や申し送りノートを活用し、基本的な介護や体調の変化に即時的な支援ができています 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族が仕事で不在になっていることが多く、コミュニケーションを図る時間が不足している ・家族が知らないことも多いため、以前の生活環境を十分に把握できていない ・本人の望むこと、家族の望むケアにずれがある ・ケース記録に内容が残っていないことがある ・本人の思いを受け取る私達が、間違った解釈をしていないか不安になり、チームにうまく伝えることができない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・家族が休みの日に訪問する時間を作り、得た情報は共有していく ・ケース記録の入力もれが無いように業務日誌で確認し、<u>モレ</u>があった時は追加記入する ・家族に聞いてわからないことは、本人に確認する 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年 2月 15日 (17:30~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 長沼・金子・佐々木・泉・柴田・高橋・斉藤
佐藤(久)・佐藤(弘)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?			6人	3人	9人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1人	8人			9人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6人	3人		9人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1人	1人	7人		9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人の暮らし方を聞いて、職員の情報共有はできている ・ご利用者同士の交流が図られている	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・家族が日中仕事で不在であることが多く、これまでの人間関係を全て理解することは難しい ・地域資源などの把握不足やご利用者全ての地域民生委員の把握はできていない。それは、管理者が地域の民生委員と連携を図っているため、職員は必要性を感じていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・本人に確認し本人もわからないことは、訪問時に家族に聞く。聞いた内容はケース記録に残し、情報を共有する ・地域資源、地域民生委員との関わりについて、引き続き管理者を中心として行うが、職員へも情報共有を図り、その必要性などの意識向上を図る	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年 2月 15日 (17:30~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 長沼・金子・佐々木・泉・柴田・高橋・斉藤
佐藤(久)・佐藤(弘)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		7人	2人		9人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が適切に提供されていますか?	6人	3人			9人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	8人	1人			9人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	9人				9人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご本人の希望に合わせた柔軟な対応ができている
- ・通いの時間は決まっているが、ご利用者に合わせた時間の受け入れや延長を行っている

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ご本人のニーズがご家族の協力なしでは成り立たず、ご家族のニーズを優先してしまう
- ・資源がその方に適していないことや、協力が得られないこともあり、地域資源を活用できる人とできていない人がいる

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・もう一度地域資源を確認し、エコマップのような地域資源マップを作り、職員で情報を共有する
- ・プランにインフォーマルなサービスを取り入れ、活用できるようにしていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年 2月 15日 (17:30~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 長沼・金子・佐々木・泉・柴田・高橋・斉藤
佐藤(久)・佐藤(弘)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	8人	1人	人	人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間を想定した避難訓練を行うように助言を受ける
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年6月4日に地域のご協力を得て、夜間想定での避難訓練を実施する。横手市消防署から「よくできている」との評価をいただく

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1人		8人		9人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1人			8人	9人
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	9人				9人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	9人				9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間想定での避難訓練は実施できた。また救急救命などの講習を受講している ・医療機関や家族との連携・状態報告などできている。受診時の付き添いなども支援している ・包括などの会議には管理者が出席し、必要な事は職員に報告している ・年に一度の『花むつみ祭』でボランティアや地域の方々の協力の下、盛大に開催できている ・保育所の園児さんの訪問、小学校の生徒さんがイベントなどに来所し交流が図られている 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所や地域ケア会議などの会議は、管理者や相談員などが出席し、会議の内容が職員参加の必要性がないため、「ほとんどできていない」を選択 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・改善計画なし 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年 2月 15日 (17:30~20:00)

7. 運営

メンバー 長沼・金子・佐々木・泉・柴田・高橋・斉藤
佐藤(久)・佐藤(弘)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		6人	3人		9人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7人	2人			9人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8人	1人			9人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	7人	2人			9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・いかなる苦情についても、すぐ対応している。職員へ内容を説明し対応後の伝達も行っている ・運営推進会議(2ヶ月に1回)で意見を伺い、活用している ・申し送りやミーティングなどで意見を述べる事ができている 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・意見を述べやすい雰囲気ではあるが、会議などで話すことは苦手で、うまく伝えることができない。また自分が言わなくても、同じような意見を持ち、考えていると思っっているため言わない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・話ができない時は、会議前個別に意見を聞く(管理者が行う) ・同じ意見を持っていても、それぞれの感じ方や受け取り方が違っていることもあり、口に出して発言できるように促していく 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年 2月 15日 (17:30~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 長沼・金子・佐々木・泉・柴田・高橋・斉藤
佐藤(久)・佐藤(弘)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		7人	2人		9人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	8人			9人
③ 地域連絡会に参加していますか	1人	8人			9人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	1人	6人	2人		9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・スキルアップや資格取得に向けた支援を行っている。「資格取得制度」がある
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること ・職員個々の仕事に関する意識レベルに違いがあるため、職場内研修への参加率は低い
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・職場内研修の必要性や大切さを事業所会議で伝えていく。また職場外の研修に、年度ごとに一人ひとつは参加する機会を作る(復命書にて確認する)
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年 2月 15日 (17:30~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 長沼・金子・佐々木・泉・柴田・高橋・斉藤
佐藤(久)・佐藤(弘)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	9人				9人
② 虐待は行われていない	9人				9人
③ プライバシーが守られている	9人				9人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している				9人	9人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	8人	1人			9人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・虐待・身体拘束しない介護を開設時から実践している
- ・開設時から身体拘束廃止・事故防止検討委員会を設置し、月1回必ず委員会を開催し身体拘束・虐待防止に取り組んでいる
- ・鍵のかかる保管庫に、個々のファイルケースなどの個人情報に関する書類を施錠し管理し、鍵は管理者が管理している。
- ・守秘義務についても普段から職員に周知徹底している

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・成年後見制度を活用している人はいない(該当者なし)

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・改善計画なし

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 一真会	代表者	佐々木幸雄	法人・ 事業所 の特徴	❖ 理念に添った対応を心がけ、常にご利用者様を中心に考え、支援しています。また、笑顔と真心を大切に、ほっこり・ゆったり安心して過ごしていただけたように頑張っています。 ❖ 地域の皆様との繋がりを大切に、地域行事への参加、子供連との交流を図っています。 ❖ 火曜日・金曜日は足湯（人工炭酸泉）を開放し、地域の交流と憩いの場となっています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 花むつみ	管理者	佐藤 弘美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	人	人	人	4人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・改善計画の指摘なし			評価で改善の指摘はなかった。
B. 事業所のしつらえ・環境	・改善計画の指摘なし		季節や行事にあった環境は整えられているが、施設独特のにおいを感じるといわれる。	換気扇や消臭剤を使用し対応している。排せ支援後の消臭対策を徹底する。
C. 事業所と地域のかかわり	・改善計画の指摘なし		地域の人が小規模多機能のサービスについて、内容や役割を理解しているのかは分らない。また、利用料金も高いと思われているとのご意見も頂きました。	十文字町の地域の公民館、近隣の部落会館などで、小規模多機能のサービスクを知ってもらえるように、集会所での説明や座談会を計画する。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	・改善計画の指摘なし		地域高齢者との関わりは多いが、過度の関わりは個人情報関係もあることから控える。	意見を踏まえて地域支援を検討していく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・改善計画の指摘なし		運営推進会議の内容を活かした取り組みが行われている。	評価で改善の指摘はなかった。
F. 事業所の防災・災害対策	・夜間を想定した避難訓練を実施し、避難方法や職員の少ない時間帯の対応について学び、訓練後の課題など検討する。同時に職員の危機管理意識を高め、スムーズな避難方法を身につける。	事業所全体で話し合い、地域の協力を得て、夜間想定避難訓練を H27.6.4 行いました。横手市消防署から「よくできている」との評価を頂きました。	事業所の防災計画を知らないとの意見が出ました。	運営推進会議にて、施設の防災体制についてお知らせし理解と協力を頂く。